

## 平成30年度 第2回 青森市廃棄物減量等推進審議会 会議概要

(通称：住みよいクリーンな青森市を考える審議会)

日 時：平成31年1月31日(木) 午後1時28分～午後3時10分

場 所：青森市役所柳川庁舎 1階 会議室

出席委員：加川委員(会長)、西田委員(副会長)、一戸委員、伊藤委員、今井委員、  
上村委員、竹中委員、松山委員(8名全員出席) ※副会長以下、五十音順

事務局：環境部 八戸部長

廃棄物対策課 竹内課長

清掃管理課 若佐谷課長、泉副参事、蠣崎主幹、鎌田主査、成田主事

青森市清掃工場 千葉場長

浪岡事務所市民課 石村課長(9名)

### 会議次第

#### 1. 開会

#### 2. 会長あいさつ

#### 3. 案件

(1) 青森市災害廃棄物処理計画(素案)について

#### 4. その他

#### 5. 閉会

## 【会議要旨】

- ・ 案件（１）青森市災害廃棄物処理計画（素案）について  
事務局から案件（１）について説明

### （一戸委員）

- ・ 仮置場については、まだ定まっていないとのことだが、ある程度の規模は見込んでおく必要がある。

### （事務局）

- ・ 仮置場の候補地の一つとして、合浦公園を考えていたが、市と東北電力(株)青森営業所との「災害等発生時における電力復旧活動に関する協定」の対象施設に含まれていることから、現時点で仮置場の候補地から除外したところであり、今後、市所有の施設を洗い出し、仮置場の候補地を検討していきたい。

また、具体的な例としては、競輪場の駐車場、三内清掃工場の跡地などの候補地を検討している。

### （一戸委員）

- ・ 浪岡地区の仮置場の選定について、どのように検討しているのか。

### （事務局）

- ・ 浪岡地区の仮置場については、冬期間の雪捨て場を候補地として選定したいと考えている。

### （一戸委員）

- ・ 市で処理しきれない災害廃棄物については、どのように処理するのか。

### （事務局）

- ・ 県内各市町村との協定に基づき、広域的な処理を考えている。

### （今井委員）

- ・ 災害時、既存の焼却施設だけでは、災害廃棄物を処理しきれないことが考えられるが、仮置場に加えて仮設焼却炉の設置場所の候補地を検討した方がよいのではないかと。

### （事務局）

- ・ 既存の焼却施設において処理しきれない場合、広域的な処理を考えているが、仮置場の候補地と併せて今後検証していきたい。

(松山委員)

・災害廃棄物の処理については、東日本大震災の状況を思い出しながら、具体的な計画の作成が必要である。

(事務局)

・過去の災害時の事例を参考にしながら、災害廃棄物処理計画を作成していきたい。

(松山委員)

・大量に発生する災害廃棄物の処理を想定しながら、市外の災害廃棄物の引き受けについても考える必要がある。

(事務局)

・他市町村からの災害廃棄物の引き受けについては、調査・研究していきたい。

(伊藤委員)

・有害廃棄物の中に位置づけられているPCBの処理について教えてほしい。

(事務局)

・PCBの処理については、国が処分期限を定めているが、青森県内で発生したPCBの処理については、北海道の室蘭にある工場で処理することが定められている。

(伊藤委員)

・事業所が所有するPCBを把握することが重要であり、所有の有無について不明な事業所がある場合は再調査が必要と考える。

(事務局)

・事業所で所有しているPCBの調査については、来年度予算措置した上で調査する予定である。

(伊藤委員)

・市ではアスベストを使用した建物を把握しているのか。その情報があれば、災害時の分別あるいは処理の際に役立つものとする。

(事務局)

・アスベストが含まれた建築資材を使用した建物については、担当課で把握しており、災害時に広報する必要があるものとする。

(松山委員)

・有害廃棄物は、人体に影響を及ぼすことから、処理する際の安全面を考える必要がある。

り、これを前提として計画を作成する必要がある。

#### (加川会長)

- ・様々具体的な意見が出ましたが、この他具体的な意見はありますか。

#### (伊藤委員)

- ・浪岡地区の仮置場について、浪岡庁舎前に設置することは、災害の規模にもよるが、災害対策本部の設置や市役所機能を果たす場所であり、また市民が訪れることから適切ではないように思う。
- ・浪岡地区には雪捨て場が数箇所あり、仮置場の候補地として検討してみてもどうか。

#### (事務局)

- ・貴重な意見として、参考にしたい。

#### (西田委員)

- ・災害時には、分別の徹底が重要であり、そのためには広い仮置場の選定が必要となる。
- ・一般廃棄物最終処分場を仮置場の候補として検討してみてもどうか。
- ・計画作成後、関係団体との打ち合わせや訓練を継続していくことが重要である。

#### (加川会長)

- ・この他具体的な意見はありますか。

#### (竹中委員)

- ・むつ湾内の直下型地震に対応した計画内容となっているのか。
- ・市内にあるPCBについて、ほとんどの企業自らが把握しているように思う。
- ・ごみの減量化について、市内全体のごみの排出量が減っている傾向にあるのか。また、人口減少の影響があるのか。
- ・冬に地震災害が発生した場合の対応について、計画の中で想定しているのか。

#### (事務局)

- ・計画（素案）に記載のとおり、入内断層が青森空港からむつ湾内まで入り込んでいることから、この断層の影響による内陸直下型地震の津波を想定している。
- ・PCBの処理については、銀行を始めとした大手の優良企業については、財産台帳が整理されており、PCBの所有の有無を自ら把握しており、PCBの処理が終わっているまたは処理の目処が立っている状況にある。

また、PCBの所有を把握していない企業に対しては、来年度、県・市において調査する予定であり、具体的には固定資産台帳から建築年度、面積等により算出の上、調査する予定であり、PCB所有の有無をある程度判明することを見込んでいる。

なお、PCBの処理については、若干ではあるが中小企業向けの国の補助金があるも

のの、補助金が使いにくい状況にあり、市町村から国へ意見陳情しているところである。

- ・ごみの減量化については、これまでの様々な施策の実施により、市内全体のごみの排出量が減っている傾向にあり、一つの要因として人口減少の影響があるものと認識している。

- ・冬に特化した計画内容ではないが、今後付加していく必要があるものとする。

### (上村委員)

- ・県では、昨年11月に数年前に大きな水害（平成27年9月関東・東北豪雨）を被災した茨城県常総市の担当者を講師に招いて、市町村向けの研修会を開催した。

その中で感じたことは、一つ目として災害発生直後の初期対応が重要であり、特に仮置場の準備が上手くいかないと分別も上手くいかず、結果として災害廃棄物の処理が手間取ると感じた。

二つ目としては、計画があるからといっても、全ての災害に対応できるわけではないが、有る無しでも大分違うと感じた。

三つ目としては、仮置場への道中、軽トラックで大渋滞が発生したことや、関係部署の役割分担が計画どおり上手く進まなかったことなど、いざとなったときの体制を整えておくことが重要であると感じた。

- ・様々な災害や規模・季節を含めた上で想定しながら計画を作成する必要がある。

- ・計画作成後は、細部について補完するための実行計画の検討が必要である。

### (事務局)

- ・委員の皆様からのご意見を踏まえながら、災害廃棄物処理計画（案）を作成していきたい。

以上